



教祖140年祭

教区・支部
情報ネット→

滋賀

2月号

天理教滋賀教務支庁

〒520-0807

大津市松本2丁目12番20号

TEL077-532-8054 (FAX 8047)

PCメールアドレス

siga-kyouku@leto.eonet.ne.jp

教祖ひながたとおつとめ

教誨師 大久保洋



昨年8月23日、思わぬ負傷で降板した大谷翔平選手。9月16日には負傷者リストに入り右肘の手術となりました。MLBのシーズン開幕以来、大谷選手出場の試合を毎日のように見ていた私は、まさに大谷ロス。魂が抜けたような状態が続きました。

大谷選手は、フィールド以外にも多くの耳目を集め、その言動は洗練されていて、絶賛されています。ゴミを拾っては「運を拾っているんです」と言ってみたり、「最近では格下のチームにとりこぼす試合が続いた・・・」と言った某記者の失言を上手くたしなめたり。また史上最高年俸を提示されながら実質金銭にこだわらない契約を結んだり、日本の全ての小学校にグローブを寄贈したり、直近では能登半島大地震の被災地に巨額の寄付をしたり。アリーグ2年連続MVPという偉業を残しながら、容姿抜群、愛されキャラ、その上感謝の心を忘れず、人に優しく謙虚で、あつぱれとしか言いようのない存在となっております。彼の言動は多くの人の心を打ち、子どもたちは「大谷選手のようにになりたい」と大谷選手を目標にして頑張っています。野球選手にとどまらず、彼は人としての手本になっている感じがあります。まるで現代人の手本のようです。

さて、大谷選手の他にも、さらに厳しい条件の中を歩みながら、その生き方が人類史上の手本と仰がれ慕われる偉人は数多くいます。マザーテレサ、ガンジー、キング牧師、歴史に名を残したばかりでなく、人類の覚醒を促したとも言えるこうした偉人の功績によって、現代社会が築かれてきたと言えるでしょう。

そして、私たちのひながたと言えば教祖です。『諭達第四号』には、

ひながたの道を通らねばひながた要らん。(略)ひながたの道より道が無いで。(明22・11・7)

とお示しください、教祖のひながたを、生きる規範、手本として歩みなさいとご教示くださっています。教祖のお言葉、お振る舞い、節にあたってのお姿など、当時をお偲び申し上げ、来し方に想いを巡らすとき、お通りくださった年月の長さもそうですが、どんな偉人にもない穏

やかさと、揺るがぬ一条の精神を備えた力強さを感じます。教祖ひながたの道を辿るといことは、私もようぼくに、教祖のお心に近づくことを求められているのです。

ただ、教祖ひながたの道には、賢人、偉人にはない特筆すべき点があります。それは、おつとめの完成に込められた並々ならぬ思いであります。教祖をお慕いする想いは、そのお姿に限りない親心を感じるからこそ抱く想いです。ひながた五十年を貫くおつとめの完成ということです。

教祖百四十年祭に向けた三年千日の二年目が始まり、ひながたの道を辿る、実践するというのなら、常に忘れてはならない一点がおつとめであり、精神の支柱におつとめを据えることが、ひながたを辿る者の心得ではないかと思えます。

つとめさいちがはんよふになあたら天のあたゑもちがう事なし (10・34)

世界たすけの最高の手段として、おつとめがあるとお教えいただいています。教祖の思いそのままにおつとめがつとめられるとき、世界が治まることになるのだと思います。そして、おつとめをつとめるに相応しい人間になることこそが、教祖のひながたを辿ることになるのではないのでしょうか。

「令和6年能登半島地震」被災地の皆さまへ

このたびの「令和6年能登半島地震」により命を失われた方々、ならびに関係の皆さま方に対し、衷心よりお悔やみを申し上げます。また、被災されました方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

天理教滋賀教区

▼本部よりの連絡

葬儀の式次第変更と『おつとめ及び祭儀式』改訂版について

祭事室

これまで、祭儀に関する変更が何度ありました。昭和51年教祖九十年祭の年に「ひもろぎ」廃止。昭和59年10月の「神殿上段改修 東西礼拝場普請」竣工に際しては、神座の四方の竹としめ縄が取り除かれました。昭和61年教祖百年祭の年には、門や玄関などのしめ縄を取り外し、元旦祭から祭主の玉串奉献を取りやめました。続いて、大祭、月次祭、霊祭、年祭での祭主の玉串奉献、また参列者の玉串奉献を取りやめました。この玉串奉献を取りやめた時に、葬儀に関しては別に考えられ、それから40年近く経過。その間、何度か話し合いがなされ、いろいろと検討を重ね、今般葬儀に関して次の三点が変更されました。

まず一点目は「祓い」を取りやめる。また、葬後祓を取りやめます。二点目は玉串奉献を取りやめる。葬儀全般、また、葬後祓を取りやめます。三點目は齋服について「教服」も可とします。重服、明衣、浄衣等の齋服の無い場合は教服も可とするということです。

続いて『おつとめ及び祭儀式』改訂版についてですが、只今申し上げます。改訂版は、備考の二つ目最後に「地域、国によって慣習やしきたりがあるので、式の作法については適宜対応すること」と追記しております。葬儀は次の代に伝わる大事な節目となります。ご当家の方とよく相談して、ご遺族の希望を聞き、満足して喜んでいただければ幸いです。

また、今回のテキスト改定に併せて、文言やルビの統一などの修正を行いました。また、地鎮祭、起工式の部分では、玉串奉献は地域の慣習

や慶祝行事などとの関係もございませぬので、今回はそのままです。この改訂版は2月26日から道友社にて販売いたします。定価550円です。

関連しまして、「祭文作例集」は、当面の間そのままにいたしまして、次の再版の段階で改定する予定です。また、「玉串料」の表記については、今回は「特に定めぬ」ということになりました。

▼令和6年能登半島地震の被災報告

表統領室

このたびの地震で被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。現時点(1月27日)で、災害対策委員会に寄せられている情報の中で、特に甚大な被害が出ております石川教区能登支部管内では、被災教会26ヶ所、確認不明教会が1ヶ所(能登支部の全教会数は29ヶ所)となっております。被害状況は全壊14ヶ所。半壊4ヶ所。一部損壊8ヶ所です。人的被害の報告は届いておりません。

災害隊は、本部隊として1月4日に給水車2台、ワゴン車2台を石川へ派遣。翌5日より石川教区隊と共に七尾市にて給水活動、並行して珠洲市、輪島市へ物資の輸送。翌6日から道路規制の影響で七尾市での給水、物資輸送が中心となり、自衛隊からの物資が届きだして、教区としての物資募集を一旦停止しました。16日から21日まで、本部隊の1次隊2次隊と、新潟、福井の応援教区隊で、避難所の食事の炊き出しを行いました。また、募集を停止した物資については、避難所からの要請が増えてきたので、石川教区として「支部情報ねっと」を活用して物資の確保を行っています。18日に宿营地(珠洲市)が確保され、加えて輪島市の布教所、石川教務支庁の3か所を拠点に、22日から24日まで本部隊3次隊に加えて、長野、富山の教区隊が、七尾市、珠洲市、輪島市の避難所の賄い、炊き出し、給水等の活動を行いました。また28日から30日まで本部隊4次隊に加えて、兵庫、滋賀、岐阜、群馬の教区隊が、引き続き避難所の援助や給水活動となっております。その後も、本部隊として5次隊が30日から2月2日、6次隊として2月2日から5日まで出動いたします。応援教区は随時要請いたします。今後も息の長い活動が求められておりますので、お力添えをお願い致します。

募金については、今回は新たな基金を立ち上げる予定はありません。常設しております「天理教災害救済のきしん隊基金」に絞って募っております。地震発生から1月26日まで、件数にすると昨年1年分の39

教区よりの連絡

7件をはるかに超えて1244件の真実をお寄せいただきありがとうございます。しかし、今回の復興は容易ではありません。先の長い支援が求められますので、皆様方からの声掛けをよろしくお願いいたします。

▽令和6年能登半島地震に対する滋賀教区の対応について

・災害救援ひのきしん隊について

災害救援ひのきしん隊本部の出動要請に応じて、今後も滋賀教区隊として体制を整えて出動いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。（1月に出勤した教区隊の活動は4ページに掲載）

・支援金の扱いについて

天理教災害対策委員会が常設される「天理教災害救援ひのきしん隊基金」を通して、広く教内の真心を結集し、災救援の活動支援および被災教区への復興支援に活用されるように、同基金への心寄せに対して呼びかけを行います。基本的には直接同基金への振り込みをお願いいたします。教区に届けてくださる場合も、すべて同基金に振り込むことといたします。

■天理教災害救援ひのきしん隊基金

・ゆうちょ銀行または郵便局からの振り込み

口座記号番号 00960・5・197968

口座名義 天理教災害対策委員会

・他金融機関からの振り込み

銀行名 ゆうちょ銀行

支店名 ○九九店

預金種目 当座預金

口座番号 0197968

口座名義 テンリキョウサイガイタイサクインカイ

・救援物資の募集について

滋賀教区は、救援物資を募集し石川教区へ届けます。募集する物資は、「支部情報ねっと」の中で石川教区から発信されている必要物資とします。皆様のご協力をお願いいたします。教務支庁にて随時受け入れして蓄積し、一定量が確保された段階で石川教務支庁へお届けい

たします。

■必要物資（情報ねっと・1月21日15時発信）

●食品関係

常温で日持ちのするご飯のお供（ふりかけ・のり・インスタント味噌汁等）・ジュース（紙パックの野菜ジュース・500ml以内の物）※水・茶は不要）・お菓子・スティックコーヒー・ティーパック（日本茶・紅茶）

●食事関係

紙皿・紙お椀・紙コップ・紙コップホルダー・割りばし・使い捨てスプーン・ポリ袋（11号前後のサイズ）

ラップ・ビニール手袋・ゴミ袋（45リットル以上 透明・色付き両方）

●服関係

十分な量が集まっておりますので、受付停止します。

●衛生関係

ボディークリーム・化粧水・リップクリーム・ドライシャンプー・除菌シート・ウェットティッシュ・マウスウォッシュ・ティッシュペーパー

●その他

乾電池（単1〜4） 毛布（新品・未使用品）

※5百人規模の避難所もありますので、なるべく多くお願いします。

※記載されていない物資は受け付けできませんのでご注意ください。

※物資の集まり状況や現場のニーズにより、募集物品の変更や停止をする場合があります。あらかじめご了承ください

▽「ようぼく一斉活動日」について

・「教区・支部情報ねっと」への開催報告と御礼について（再掲）

第1回の開催報告と御礼を掲載してください。

・第2回実施計画について（再掲）

第2回の実実施計画書を、第一回の結果を踏まえて提出してください。

計画書の提出〆切は本日（2月2日）です。

・第4回教区会議開催のお知らせ

日時 3月2日 教区役員会後
内容 次回の「ようぼく一斉活動日」開催に向けた諸課題

▽令和6年度分 財務帳簿について

財務帳簿のお申込み分を本日(2月2日)配布いたします。代金は3月2日までにお納めください。

▽「おうた演奏会」大阪公演 チケット販売について

6月16日に開催される「おうた演奏会」大阪公演の前売りチケット(千五百円)を販売いたします。本日(2月2日)各支部に4枚づつお渡ししますので、希望の方に購入をお薦めください。尚、チケット購入者には交通費の助成があります。※詳細は支部長へ配布の案内をご覧ください。



おうた大阪

布教部

▽立教187年 全教一斉ひのきしんデーについて

・実施計画の提出について(再掲)

●提出締切り 立教187年2月26日(月)

実施計画は、布教部ホームページ内の全教一斉ひのきしんデー「実施計画書入力フォーム」から、実施会場ごとに入力し送信してください。送信すると、すぐに送信者と教区に確認メールが届きます。

・「教区・支部情報ねっと」に案内掲載を

チラシにあるQRコードは「教区・支部情報ねっと」につながります。各支部のページにひのきしんデーの案内を掲載しましょう。

・チラシと参加カードの申込数(チ:チラシ カ:カード 単位:枚)

大津	チ200	カ150	江西	チ700	カ300
江南	チ500	カ25	江南北	チ550	カ150
江東	チ740	カ100	江東南	チ300	カ300
湖北	チ500	カ0	西湖	チ500	カ0
教区集計	チ3990	カ1025			

※本日(2月2日)配布いたします。

▽「教理勉強会」開催のお知らせ

・日時 2月29日(木) 受付 午前9時30分 9時45分開講 12時30分終了予定(お弁当を配布します)

・場所 教務支庁

・対象 各支部3名(支部長が推薦する者・若手が望ましい)

・内容 『稿本天理教教祖傳』第十章「扉ひらいて」を深掘りする

▽布教部例会日のお知らせ

・日時 2月29日(木) 教理勉強会終了後

社友

▽道の先人シリーズ DVD「けっこう源さん」のご案内

4Kリマスター版で再版

3月予約受付、発売5月予定(受注生産)

▽「心晴れ晴れプログラム」

天理時報の記事を読み、話し合いを行い、信仰的な

気づきを得るプログラムです。教会・支部・各会などで活用ください。

(資料は道友社のHPよりダウンロードできます)

▽「グラフ天理507号」について

グラフ天理507号を本日(2月2日)配布いたします。

災害救援ひのきしん隊

▽令和6年能登半島地震 滋賀教区隊出動

1月25日、災害救援ひのきしん隊本部より出動の要請がありましたので、左記の通り滋賀教区隊として出動いたしました。出動下さった皆様には大変ご苦労様でした。ありがとうございました。

出動期間 1月27日(土)〜30日(火)

出動人員 5名 山田 輔(甲賀・甲賀・江南北)

(敬称略) 原 勇(日野・日野・江東南)

雲出 光信(湖東・湖國・湖北)

平田 一(日野・鑄物師・江東南)

高畑 健吾(甲賀・岩根・江南北)

宿营地 メルヘン日進堂(珠洲市上戸町)

作業内容 避難所での炊き出しなど



心晴れ晴れ

啓発委員会

▽2023年度滋賀同宗連全体研修会のお知らせ

・日 時 2月29日（木）受付13時30分

開会14時 閉会16時

- ・場 所 東近江市立 能登川コミュニティセンター
- ・演 題 「今こそ考えてほしい戦争と宗教」
- ・講 師 廣瀬卓爾師

（浄土宗平和協合理事長・浄土宗願海寺住職）

※先月配布の案内チラシを参照ください。



同宗連研修会

・橋本委員長・

献血推進委員会

▽1月献血実績（12/21〜1/20）（※2/2修正）

☆びわこ草津献血ルーム

江西	4名	江南	2名	★合計	成分	5名
江南北	2名	湖北	1名			
☆献血バス					400ml	7名
江南北	1名	湖北	1名			
西湖	1名					

今月も大変な中、大勢の方にご協力頂き、誠にありがとうございました。

※支部を通して配布した教区報の報告は間違っております。訂正してお詫び申し上げますと共に次号に訂正記事を掲載いたします。

・竹下委員長・

婦人会

▽婦人会庁舎清掃ひのきしん

- ・2月（1月31日） 江 東支部 ありがとうございます。
- ・3月（期日未定） 江東南支部 よろしく願っています。

・中西教区主任・

少年会

▽「わかぎの集い」のご案内（再掲）

・大北団長・

・日 時 3月25日（月） 10時〜15時

・場 所 教務支庁

▽重点項目「地域で少年会ひのきしんを実施しよう」へのお願い

※支部長に配布の案内をご覧ください。

▽『さんさい』季刊化 及び

『さんさい』『リトルマガジン』頒価改定について

月刊誌『さんさい』は、令和6年度より月刊から季刊に変更させていただきます。『さんさい』『リトルマガジン』の頒価改定を実施させていただきますことになりました。

【『さんさい』発行月】

- ・春号（4月1日発行） ・夏号（7月1日発行）
- ・秋号（10月1日発行） ・冬号（1月1日発行）

※今年に限り夏号（7月1日発行）からの発刊といたします。

【頒価改定】（令和6年度より）

- 『さんさい』 120円（税込） ↓ 220円（税込）
- 『リトルマガジン』 110円（税込） ↓ 150円（税込）

※4月号より

学生担当委員会

▽「学生層育成者講習会」のご案内（再掲）

・日 時 2月2日（金） 教区役員会終了後

・講 話 本部学担委員 幸田真生先生

▽「立教187年 春の学生おちぼがえり」について

- ・期 日 3月28日（木）
- ・式 典 午前10時 本部中庭

式典後 直属アワー

前日行事「春Fes」 前日午後7時〜9時

※参加される学生さんの送迎をいたします。詳細は次号にて。



春学案内

・宮垣委員長・

令和6年能登半島地震 災救隊滋賀教区隊出動



被災した珠洲市のようす



宿営地となったメルヘン日進堂



池の水を飲料水にするろ過装置



屋外で調理する岐阜教区隊



結隊式に臨む隊員



食材の仕込みをする滋賀教区隊

災救隊滋賀教区隊は、本部隊の要請を受けて、28日から30日にかけて、石川県珠洲市に5名の隊員が出動しました。現地の宿営地は、鹿島大教会所属の信者さんが経営されている洋菓子店の店舗兼工場をお借りして、周辺の避難所で炊き出しをさせて頂きました。

今なお復旧のめどが立たない今回の震災に、今後も引き続き被災地に心を寄せて活動させて頂きます。

（副隊長 山田 輔）

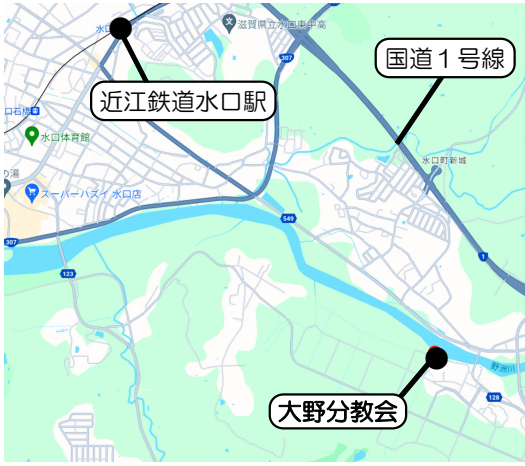
教会探訪ルポ あの街 この教会 No.107

おおの
大野分教会
（甲賀・江南北支部）
会長 中島利浩
住所 甲賀市水口町巖峨一八五〇番地

甲賀市の中心地、水口の町から東へ2km、旧東海道と野洲川が接近する所に大野分教会がある。

大野の道は、明治20年暮、中島安蔵の次男喜一郎が小児病を患い、困っていたところを、山田大右衛門におたすけを願って、不思議なご守護をいただいたことに始まる。神様のご守護を目のあたりにした安蔵が、家業を離れて近隣へのおたすけにかかる、次第に信仰する人が増え、明治21年、安蔵は斯道会第83号の講元となった。

大野村では、さらに信者が増え、明治25年には17ヶ所の講社が誕生し、翌26年3月に、大野出張所のお許しを戴いた。



当初、出張所は借家であったため、新築しようということになり、用地の買収を進めるも、ちょうどその頃より安蔵が腹痛の身上となり、回復の兆しが見えないため、おさしづを伺うと、「元の場所に移転せよ」とのこと。そこで、安蔵の家のある土地に移転した。

そうしてご守護いただいた安蔵の布教熱はますます高まり、その教勢は次第に他県へも伸び広まり、本教の一派独立に伴い、明治42年2月5日に同出張所は大野分教会へと昇格する。

その後、信者を励まし、部内の統率に尽力した安蔵は、大教会役員を拝命したのを機に会長職を辞し、明治43年3月1日長男利三郎が二代会長に就任した。

利三郎は、教祖四十年祭に向けて打ち出された教勢倍加運動を受けて、多くの部内教会設立を成し遂げるとともに、甲賀大教会の移転建築に真実の限りを尽くし、戦争の渦中にあつては、当局の弾圧に屈することなく、信者一同の心を一つ



にまとめ、大野分教会の盤石な基礎を築き上げた。また、大教会の移転建築落成奉告祭を目前に、利三郎の長男馨が出直すという大節に見舞われるも、心を倒すことなく布教に専念し、教祖五十年祭には千人団参を行い、感激のおちびがえりを実現させた。こうして42年間の長きにわたる会長としてつとめた

後、昭和27年10月26日、利三郎の孫利郎が三代会長のお許しを戴いた。利郎は、昭和43年10月、教会の所在地が交通の不便な場所にあることから、西に2kmほどの現在地に移転のお許しを戴き、まずは教職舎を移築し、次に神殿の移築、その後新神殿を建築する計画であつた。

しかし移転は順調に進んだが、同じころ、甲賀詰所の移転建築が行われていたため、新神殿の普請は一旦中断し、詰所移転普請に全力を注いだ。これにより新神殿の完成は5年後となるが、普請には部内教会や信者の真実が結集し、昭和48年10月21日、教会創立80周年記念祭に併せて、神殿落成奉告祭が勤められた。

その後も、たすけ一条の道を歩み続けた利郎は、平成5年10月31日、教会創立百周年記念祭を、千二百名の参拝者と共に喜び心いっぱいにつとめきり、平成9年1月26日長男利浩へと会長職を譲った。

利浩は、大教会青年勤めを終えて後、本部海外布教伝道部に勤務、そこで妻さかえと出会い結婚。四代会長のお許しを戴いた利浩は、大野に繋がる若い人たちの丹精に心を尽くそうと、「大野・躍進の集い」を開催するとともに、地域の子どもたちを対象に、英語教室や勉強会などを実施した。近年は、教会をより身近に感じてもらえるようにと、積極的に音楽コンサートや地域活動としての田舎体験の受け入れ先となり、若い人々への丹精と地域への繋がりを大切に活動を進めている。

教祖百四十年祭に向かう只今の時句、大教会の活動方針に則り、教会の垂れ幕には「日々の成人毎日コツコツ」と掲げて、「教会に繋がる一人ひとりの動きにゼロの日がないよう、丹精に励みたい」と話す利浩会長であつた。



中島会長ご夫妻

1月 教区日誌

- ／15 教会探訪ルポ取材 大野分教会
- ／16 啓発委員会 10:00
- ／21 里親会役員会 16:00
- ／27 教区長会議（教庁）11:00
災救隊滋賀教区隊石川へ出動（30日迄）
- ／28 学生担当委員会 15:00
- ／30 布教部例会 14:00 広報委員会 16:00
- ／31 庁舎清掃ひのきしん 江東支部

法人関係

▽基本財産一部処分承認願

- ・琵琶分教会〔本部 江西〕
- 受理日 1月12日

2月 行事予定

- ／02 主事会、役員会、婦人会例会
学生層育成者講習会
本部学担委員 幸田^{まさお}先生来訪
- ／13 教会探訪ルポ取材 中仙道分教会 13:00
- ／25 教区長会議（38母屋）16:00
- ／28 少年会例会 10:00 広報委員会 15:00
- ／29 教理勉強会（布教部）9:00
上記終了後布教部例会
（未定）庁舎清掃ひのきしん 江東南支部

- ◇ 閉庁日 14日 23日 25日 26日
- ◇ 閉庁時間 午後4時（10月～3月）
（連絡先 ☎ 080-8341-1563 鈴木）

被災教区支援に 真実を届けよう！

■支援金を届けよう

広く教内の真心を結集し、災救隊の活動支援および被災教区への復興支援に活用されるように、天理教災害対策委員会が常設される「天理教災害救済ひのきしん隊基金」への心寄せをお願いします。

直接同基金へお振り込みいただくか、教区でも受付いたします。集まった真実はまとめて同基金に振り込みます。受領書希望の方はお申し出ください。

◇天理教災害救済ひのきしん隊基金

- ・ゆうちょ銀行または郵便局からの振り込み
口座記号番号 00960-5-197968
口座名義 天理教災害対策委員会
- ・他金融機関からの振り込み
銀行名 ゆうちょ銀行
支店名 ○九九店
預金種目 当座預金
口座番号 0197968
口座名義 テンリキョウ
サイガタイトサイインカイ

■救援物資を届けよう

滋賀教区では、救援物資を募集し石川教区へお届けいたします。募集する物資は、「支部情報ねっと」の中で石川教区から発信されている必要物資のみです。教務支庁にて随時受け入れして蓄積し、一定量が確保された段階で石川教務支庁へお届けいたします。皆様のご協力をお願いいたします。

◇必要物資（情報ねっと・1月21日15時発信）

●食品関係

常温で日持ちのするご飯のお供（ふりかけ・の

り・インスタント味噌汁等）・ジュース（紙パックの野菜ジュース・500ml以内の物 ※水・茶は不要）・お菓子・スティックコーヒー・ティーパック（日本茶・紅茶）

●食事関係

紙皿・紙お椀・紙コップ・紙コップホルダー・割りばし・使い捨てスプーン・ポリ袋（11号前後のサイズ）

ラップ・ビニール手袋・ゴミ袋（45リットル以上 透明・色付き両方）

●服関係

十分な量が集まっております。受付停止中。

●衛生関係

ボディークリーム・化粧水・リップクリーム・ドライシャンプー・除菌シート・ウェットティッシュ・マウスウォッシュ・ティッシュペーパー

●その他

乾電池（単1～4） 毛布（新品・未使用品）
※500人規模の避難所もありますので、なるべく多くお願いします。

※記載されていない物資は受け付けできませんのでご注意ください。

※物資の集まり状況や現場のニーズにより、募集物品の変更や停止をする場合があります。あらかじめご了承ください

・お届けくださる場合は、教務支庁の閉庁日・閉庁時間にご注意ください。

・お問い合わせ 滋賀教務支庁 ☎077-532-8054



布教月報

道友社報



学生担当者報

情報ねっと

